

2019年4月26日 第3287回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 北村 会長
<斉 唱> 「それこそロータリー」
<ビジター紹介> *かながわ2780ロータリーEクラブ 会長 原 いづみ 様
<会長報告> *新会員入会 小山美智恵 会員
*第10回理事役員会 報告
*End Polio Now:「歴史へのカウントダウン」キャンペーンの感謝状受領
(ポリオプラスへ1,500ドル以上を寄付したクラブ対象)
*ガバナー事務所より「2019年規定審議会報告会」開催のお知らせについて
6月15日(土) 14:30~16:30

- 於：ミナパーク6階「多目的ホール1&2」
<委員長報告> *インターアクト アクターズミーティング報告 小林一博委員長
<幹事報告> *第10回米海軍第7艦隊バンド&横須賀交響楽団フレンドシップコンサート
アメリカン・サウンド・イン・ヨコスカ チケットのご案内
9月8日(日) 15:00 開演 於：横須賀芸術劇場
*例会終了後 現・次委員長会議開催(於：例会場)
*ローターアクト活動予定
第1072回 5月14日(火) 於：大滝会館 内容：次年度打合わせ
第1073回 5月28日(火) 於：大滝会館 内容：Enora 会員による英会話教室
*例会予告 5月 3日(金) 休会
5月10日(金) 例会終了後13:00~ 職場見学会
行先：横須賀焼却施設建設現場視察・リサイクルプラザ見学
大型クルーザー(OCEAN BLEU)に乗船 サンセットディナー

- <出席報告> *出席委員会 福西委員長より4月26日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
120名	103名	63名	40名	10名	70.19%

<ニコニコ報告>

- ・原 いづみ 様(かながわ2780ロータリーEクラブ)
久しぶりに出席させていただきます。平成最後の例会よろしくお願ひします。
- ・渡 邊、田 邊、岡 田、高橋 勲、中村 隼、澤 田 各会員 かながわ2780ロータリーEクラブ
会長 原いづみ様、ようこそお越しくださいました。どうぞ例会をお楽しみください。
- ・三 役 4月21日に行われました地区研修・協議会ご参加された皆様大変にお疲れ様でした。
本日の報告よろしくお願ひいたします。
- ・田 邊、角 井、植 田、杵 渕、大 竹、上 林、飯 塚、
長 坂、高橋 勲、新倉 良、澤 田 各会員
小山美智恵会員 ようこそ横須賀RCへ。フェアリーガールズも待ってます。
- ・小山 眞 会員 本日よりお世話になります。末永くどうぞ宜しくお願ひ致します。
- ・飯 塚、鈴木 肇、澤 田、丸 山、前 田 各会員
長堀会員、退会大変残念ですが、益々の御活躍を祈念しております。
- ・長 堀 会員 長らくお世話になりました。ご厚誼ありがとうございました。
- ・丸 山 会員 先週、長澤会員のネームプレートを間違えて付けていましたが、私も周りも誰も気付かず、帰る時に気が付きました。出席になっていますよね？
- ・三 役 三宅さん本日はお誕生日おめでとございます。日頃より大変にお世話になり感謝しております。

・渡邊 備、鈴木 豊、田 邊、瀬 戸、植 田、角 井、福 西、松本 朋、岡 田、梁 井、
木 村、八 巻、小 平、加藤 備、齋藤 備、長 尾、飯 塚、谷、大 竹、鷺 尾、山 寄、
上 林、高橋 備、新倉 良、鈴木 崇、Enora、齋藤 眞、中村 備、平 松、澤 田、三 堀、
土 田、丸 山、五十嵐、勝 間、久保田、鹿 島、八 木 各会員

三宅さんお誕生日おめでとうございます。いつもRCの為に本当にありがとうございます。
これから末永く元気で活躍ください。

<卓 話> 第3回クラブ協議会（地区研修・協議会）報告

1. 会長部門

田 邊 一 三

平成31年4月21日（日）日本大学生物資源科学部において地区研修・協議会が行われました。12時30分点鐘、全体会議Iの後、14時20分から分科会となり、私は会長部門に参加しました。分科会では、脇洋一郎ガバナーから「会長の役割と責務」、杉岡芳樹ガバナーエレクトから「次年度地区方針・元気なクラブ作り」、そして、久保田英男ガバナーノミニーにより選出された11名の会長エレクトから、「クラブ会長としての意気込み」、「地区方針に対する取り組み」、「クラブにおける戦略計画」についてスピーチが行われました。各クラブそれぞれが特徴あるスピーチで次年度に向け大変参考になりました。

次年度国際ロータリー、マーク・ダニエル・ロマーニー会長は、より力強いロータリーを築くためのビジョンを示され、地域社会とのつながりを広げるために、革新的な会員モデルを導入していくことをクラブのリーダーに呼びかけました。また、2019・2020年度の会長テーマとして、「ロータリーは世界をつなぐ」、「ROTARY CONNECTS THE WORLD」、「ロータリーを通じて、私たちはつながります」を発表されました。

この方針の下、杉岡ガバナーエレクトは、地区方針として、「一クラブ一奉仕プロジェクトを」を提案し、今まで以上にクラブとして持続可能な地域プロジェクトを奨励しています。考えさせられることが多く、会長としての責任の重さを痛感する一日でした。

2. クラブ管理運営部門（クラブ奉仕担当）

藤 村 昌 一

クラブ管理運営部門では、秦野RCの佐野PGによる「今年からスタートするロータリーの新戦略計画の概要」、藤沢南RCの阿部地区クラブ管理運営委員長による「規定審議会の仕組み」、そして、ふじさわ湘南RCの市川地区マイロータリー推進委員長による「マイロータリーのアカウント登録の推進」、の3つのテーマの研修が行われました。

「新戦略計画」では、現行の3つの戦略目標の「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」及び「公共イメージと認知度の向上」に代わって、新しい優先的戦略事項として、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」4つの項目が提唱されています。これまで同様に、「親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ」といったロータリーの中核的価値観が根底にあり、現状の戦略計画の延長上にある内容となっています。

次に、規定審議会ですが、立法案には、組織規定に変更を加える制定案とRI理事会等に対する意思表明としての決議案の2種類があります。近年の変更点として、このうち決議案は「決議審議会」を通じて、毎年、提案と投票が可能になりました。意外な事実としては、日本からの提案件数がなんと全世界の約半数を占めているそうです。われわれ日本人は、世界的にみて議論好きな国民なのか、それとも現状に不満を抱く人が多いのか、または、ロータリーに対する思い入れが一層強いのか、いろいろな理由を思いめぐらせながらも、日本のロータリーの不思議な一面を知った思いです。

最後に、マイロータリーですが、地区内クラブ別のアカウント登録率の一覧表が配布されました。当クラブの登録率は3割弱と、地区平均の約4割を1割以上回っています。マイロータリーにログインすると、国際ロータリーのデータベースから、各種マニュアルのダウンロードや奉仕プロジェクトの実例紹介等、様々な情報に簡単にアクセスできます。登録自体は至極簡単ですので、是非みなさん、やってみてください。

3. 公共イメージ部門（雑誌担当者）

清 水 格

当分科会は森洋PGによる、新しく定められた新R I 戦略計画と公共イメージについての基調講演から始まりました。次に、現地区委員長の辻彰彦氏より公共イメージ委員会の取り組みについて解説があり、その一例として、横須賀RCが毎年取り組んでいるエンドポリオのための募金活動や、一万メートルプロムナードクリーン作戦の様子などがビデオにて紹介されました。

来年度の委員長となる佐藤サブリーダーからは、「世界を変える行動人」キャンペーンについての話があり、ロータリーがどのような組織で、どのような活動をしているかを一般に広く知ってもらう必要があり、その一つのリソースとして「マイロータリー」という会員向けの様々な情報が発信されるウェブサイトがあるのだが、登録している会員は現在の所まだ少数で、一人でも多くの会員に登録していただき、それを活用してクラブ活動を会員だけでなく、メディアや一般の方知ってもらうよう、会員一人一人の行動が必要であるという内容でした。

4. 会員増強・維持部門

兼 城 毅

2019年4月21日（日）、地区研修・協議会、会員増強・維持部門に出席しました。

部門別会議では、リーダー仲田昌弘PGはじめ、松下力サブリーダー、三澤京子サブリーダー、鎌倉中央RC橋本はづき様による次年度会員増強・維持への心構えのお話を頂きました。仲田リーダーからは、会員増強（新陳代謝）が無ければクラブの活性は無い。時代の変化と共にクラブでの会員増強活動にも柔軟性を持ち活動をお願いしたい、とのお話を、松下サブリーダーからは、クラブにおける会員増強は「目的」ではなく「手段」であって欲しい、つまりは仲間を増やすことが目的ではなく、仲間を増やすことで質の高い奉仕を実践しクラブの伝統を創ることが目的となるよう、各クラブでの会員増強の目的、その先にある目的を共有することが大切である、と貴重なお話を聞くことができました。

地区研修協議会は大変貴重な勉強の場となりました。次年度会員増強委員長として横須賀RCのその先の目的を意識し、伝えながら増強活動に取り組もうと思います。当クラブ会員の皆様におかれましても会員増強活動へのご理解、ご協力をお願いさせて戴き報告とさせていただきます。

5. 奉仕プロジェクト部門（職業奉仕）

植 田 威

地区研修・協議会に参加させていただき、次年度の「地区奉仕プロジェクト委員会」が、「職業奉仕委員会」、「社会奉仕委員会」、「国際奉仕委員会」から組成されることを理解しました。当クラブから、社会奉仕として小林一博会員が、国際奉仕として久保田会員が、職業奉仕として私が、出席させて頂きました。

冒頭、奉仕プロジェクト部門のリーダーの松宮PGから、杉岡ガバナーエレクトが提案された地区方針「一クラブ一奉仕プロジェクトを」に関するお考えをお聞きすることができました。本地区方針は、クラブの活性化・強化を狙ったもので、クラブの会員が少なくても取り組みやすいが、特色ある活動とし地域社会への明確なメッセージが求められること、奉仕プロジェクトを企画し窓口となる委員会の責務も重要だが、クラブ全体で取り組む必要があること、それから、手法の例として、RCC（ロータリー地域社会共同隊）が紹介されました。

続いて、地区の次期職業奉仕委員長の小田原城北RCの石崎孝サブリーダーから、「分かりやすい職業奉仕」と題し、奉仕とは、ターゲットに対して実践的な行動を伴い、他者に対して、社会に対して有益なものでなくてはならないこと、更に、職業奉仕は職業上のスキルを活かして社会に役立つことだが、スキルが無い場合は、人として正しく大きな心と高潔性を持って社会に役立つことが求められる、という話を頂きました。以上、奉仕プロジェクト部門の職業奉仕に係る報告とさせていただきます。

6. 奉仕プロジェクト部門（社会奉仕）

小 林 一 博

私は久保田会員、植田会員と共に奉仕プロジェクト部門の研修に参加してまいりました。奉仕プロジェクト部門は国際奉仕、職業奉仕、社会奉仕の3つが含まれておりますが、私は担当しております社会奉仕について報告させていただきます。

社会奉仕部門は厚木県央RCの石井サブリーダーから「社会奉仕：地域社会とコネクトしよう」というテーマで発表がありました。社会奉仕のあり方とは地域社会との「ツナガリ」が最も重要であり、地域社会の抱えている問題など、一緒に取り組むことを考えるべきであるとのことでした。具体的な例を挙げるとRCC（ロータリー地域社会共同隊）の活動があります。RCCとはロータリークラブ会員以外の人々が、ロ

ロータリーの取り組みに賛同し、地域社会のためにボランティア活動をするグループです。この活動は30年以上前からあり、現在100か国で1万を超えるRCCがあります。まずロータリアンが地域のリーダーを探し、そのリーダーと共に地域社会の人々の積極的な参加を呼びかけます。それから参加者と協力し奉仕事業を策定します。現在愛知県の2760地区がこの活動を積極的に取り組んでいます。また、会員数の少ないロータリークラブでも取り組みやすい点がRCCのメリットです。

社会奉仕活動で重要なことは、継続事業、単年事業いずれであってもまずは地域社会とつながりを持ち、プロジェクトを実行、行動するべきであるとの事でした。

7. 奉仕プロジェクト部門 (国際奉仕)

久保田 英 朗

杉岡ガバナーエレクトから提案された「一クラブ一奉仕プロジェクトを」を促進するため、奉仕プロジェクト部門の茅ヶ崎湘南RCの松岡リーダーからプロジェクトの良い例、悪い例について、具体例を挙げて問題提起がなされました。奉仕は決して押し付けであってはならず、奉仕を受ける側の状況、ニーズを考えて行なう必要があるとのことでした。

国際奉仕プロジェクトについては、平塚湘南RCの三富サブリーダーから話があり、今年度2780地区では68クラブ中、地区補助金申請が3件、グローバル補助金申請が1件提出されているとのことでした。この1件のグローバル補助金申請は、横須賀RCから提案されている職業研修チーム(VTT)プロジェクトです。また、過去の国際奉仕の事例として、ホンジュラスでの「安全なお産を行うための母子保健プロジェクト」やフィリピンのシキホール島での「学童への音楽教育プロジェクト」について紹介がありました。これらの奉仕プロジェクトを通じて感動と喜びを得る体験をしてほしいと話を締めくくられました。

8. 青少年奉仕部門 (ローターアクト)

福 西 美 子

本部門は、リーダーが小佐野圭三会員、サブリーダーが北村会長で、インターアクト、ローターアクト、青少年交換の3つの部門が合同でした。来年度テーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。

小佐野リーダーの基調スピーチでは、アクトが活動をするようになった経緯や奉仕活動の重要性について、また、2780地区インターアクトクラブが、12クラブ会員数170名、ローターアクトクラブが5クラブ約40名で活動していることが紹介されました。

北村サブリーダーより、横須賀ローターアクトの活動として、水プロジェクトに資金援助、街の清掃活動、エノラ会員による英会話教室、1万メートルプロムナード、ロータリークラブとの合同例会などを実施しているとの発表がありました。

また、ローターアクトの会員増強が課題として挙げられました。大きな課題を与えられた思いです。

9. 青少年奉仕部門

八 巻 敏 博

国際ロータリー青少年交換プログラム(YEP)は、1929年フランスのニースRCが最初の交換留学を開始、その後1939年にはアメリカ合衆国・南米間で開始され、1972年に国際ロータリー理事会で世界的な平和と理解を推進する価値ある国際的活動として正式に推奨され、RI本部に常設委員会を持つ重要なプログラムとして、世界中に広まり今日に至っています。青少年交換プログラムは、地区独自の事業ではなく、国際ロータリーの継続事業としてご理解ください。

第2780地区では、今年度は、アメリカ、アメリカ/カナダ、メキシコ、ブラジル、イタリア、フランス、ドイツ、ハンガリー、台湾の9か国へ9名を派遣し、同じく9名を迎え入れ、各グループに1名の来日学生のお世話をお願いしています。次年度は、今年度と同等の9か国と1対1の学生交換を行う予定で、横須賀RCはホストクラブとして受け入れる予定です。この様な多様性のある学生交換は、当地区の特色であり、国内他の地区では行なわれていません。

青少年交換プログラムは、世界中のロータリアンが青少年に今まで体験したことないような体験をさせてあげたいとの思いを形にした事業です。そして、同時に将来のロータリアンの種をまく意味でも大変有意義な事業だと確信しています。また、この青少年交換は、ロータリアンの子弟が挑戦できる唯一のプログラムですので、皆様のお子さんやお孫さんにも是非、挑戦して頂きたいと思います。

青少年交換学生募集については、国際ロータリー第2780地区ホームページよりご覧ください。

https://rid2780.gr.jp/project/youth_exchange/index.html

10. ロータリー財団部門

澤田 菊江

ロータリー財団部門の研修会に参加させて頂きました。

はじめに、リーダー田中賢三財団委員長より「ロータリー財団・ハンドブック」のご説明の後、ハンドブックを基に研修が進められました。

「ロータリー財団全般」について、「世界で良いことをしよう」を公式標語としロータリアンが世界で健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成することがロータリー財団の使用であるといくつかの例を挙げて話されました。

「財団補助金」について、地区補助金、グローバル補助金、VTT、補助金申請手続き方法についてお話し頂きました。

「奨学金(平和フォロー、財団学友)」について、石塚愛財団学友のご自身の体験を話されました。

「補助金管理」について、財務管理、書類保管等に関する注意事項の説明がありました。

最後に田中賢三リーダーより、間口が広く奥行きも深いロータリーであるので、少しずつ勉強し、話し合いをしてロータリー財団についての理解を深めると良いでしょうと話され、研修を終了致しました。

11. 米山奨学部門

前田 長生

大和中RCの後藤リーダーより公益財団法人ロータリー米山記念奨学会全体についての説明があり、この法人は主としてアジア諸国またはその他のロータリー所在国の学生または学者に対し、我が国において勉強または研究するための奨学金を支給して、ロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的としており、全国ロータリークラブの寄付を主たる財源とし、ロータリー会員によって運営され、ロータリーの目的達成に寄与することであるとの設立趣意書の説明がありました。

主に全国ロータリークラブの寄付による2018年度予算は16億4077万円に達し、2018～2019年度の全国の米山奨学生は854名で、国別の内訳は中国39.2%、ベトナム14.8%、韓国9.8%、マレーシア4.4%、台湾4.1%でした。2780地区の奨学生は29名で中国10名、ベトナム4名、韓国3名、マレーシア2名、スリランカ2名、タイ2名、台湾・トルコ・インドネシア・サウジアラビアと今回が初めてのアフガニスタンが各々1名でした。

米山奨学生の採用数と各地区への割り当て数は寄付額により決定され、地区の寄付額が他の地区よりも多ければその地区の採用数は増えることになり、2018年度からはより一層地区の寄付増進への取り組みが反映されることになっています。

次に箱根RCの澤田サブリーダーより地区米山奨学委員会と米山学友会の現状について、藤沢北RCの笠原サブリーダーより米山奨学生との接し方、平塚RCの常盤サブリーダーより米山寄付の現状と推進についての説明があり、中でも地区危機管理委員会より米山奨学生が外国から留学しているため、政治形態や生活習慣および宗教の相違などによる誤解や認識のずれから危機に係るような事態を招くことが予想されるため、国情や宗教の違い・挨拶の仕方・飲食時のマナーなどの細部にわたって、できる限り誤解を生まない行動を心がけるようお願いしたいとのことでした。

12. 研修部門

加藤 元章

当部門では、大谷PGによる各クラブのRI戦略計画に基づく長期計画の必要性、田島ディジグネットによるクラブ研修リーダーの責務のキーワード「元気」について、神谷研修委員による第9グループ各クラブ毎の研修委員会の今年度の取組についての報告がありました。

3講師共に、各クラブの年度を超えた長期計画の必要性を強調されており、配布された資料・123問に及ぶ「戦略計画とクラブの分析・ロータリークラブ自己評価表」を参考にされたいという事でしたので、早速次年度執行部と打合せて、自己分析を行い今後の当クラブの活動に有意義なものとなるように活用したいと考えておりますので、とりわけ入会の浅い会員の皆様の積極的な参画をお願い申し上げます。

13. 新会員部門

加賀本 好美

好天に恵まれ汗ばむほどの暖かさとなった日曜日、臼井会員とともに新会員部門に参加致しました。

始めに横須賀南西RCの宮本清志リーダーより、ご自身の新会員時代の経験をもとにロータリーを楽しむためのお話がありました。ロータリー活動を通じて仲間が増え人と人のつながりを感じることができて良かったとの思いが楽しみとなったとの事でした。ロータリーは人間性を育てる団体で自分も成長できる、会費を払って会員となっているのだから、ロータリー活動で何かを得てほしい、楽しんでください、との温かいお言葉を頂きました。

次に小田原RC高田善好サブリーダーより様々なロータリー用語についてユーモアも交えながら説明をして頂きました。

最後に、相模原南RC栗林一郎サブリーダーから、ロータリーの三大義務（例会への出席・会費の納入・ロータリー誌の購読）やメーキャップについてのお話し・ロータリー入会当時の経験談や思いをお聞きし、今の自分の思いと重なることに大変共感を受けました。

今回、部会に参加させて頂き、先輩ロータリアンの方々の貴重なお話を伺えた事に感謝致します。ありがとうございました。

14. 新会員部門

白 井 健

横須賀南西RCの宮本清志リーダーによる「ロータリーを楽しむために」というご講演では、長くロータリー活動を続けることで、顔見知りになり仲間がだんだん出来て来る事や、米山奨学制度のご説明を頂きました。次に小田原RCの高田善好サブリーダーよりロータリー用語についてご説明を頂きました。その中に当地区の名称は第2780地区ですが、「ニイナナハチマル地区」とは言わない事を知りました。「にせんはちじゅう地区」と今後は呼びます。最後に相模原南RCの栗林一郎サブリーダーよりロータリー経験談と三大義務について教えて頂きました。①出席義務②会費の納入③ロータリー誌の購読とのことでした。本日のセミナーを踏まえて、ロータリー活動に邁進していきたいと思いました。ありがとうございました。

15. 幹事部門

渡 邊 磨

研修の内容としては、クラブ幹事の任務と役割、そして期待される役割についてとマイロータリーの登録についてでした。まず寄付についてですが、米山奨学生に関しましては、昨今、難しい問題を抱えているアジアの奨学生への寄付に抵抗を感じている方もいるとのお話の中で、ロータリーは世界をつなぐという次年度のテーマにもあるように、色々な思いはあるにせよ、国民レベルでは仲良く交流をして行くべきであり、寄付行為は自分の福を分けてあげる“福分け”という考え方もあるとお話し頂きました。

会員増強・維持については、入会頂く事も大事なことだが、入会後はそれ以上に重要であり、折角入会していただいたにもかかわらず、人間関係や奉仕の理念などクラブの内容が思っていたものと違うことで辞めてしまうといった事例があること、新会員へのフォローは大切なことであり、特に若い会員へは研修をしっかり行い、そして寛容な気持ちで受け入れてあげることも必要であると評していました。

地区大会に向けては、全会員の参加を奨励するという課題があります。特に新会員の方はロータリーのことを知っていただく良い機会になりますので、可能な限りご参加頂きたいと思います。次年度は10月20日に行われます。

期待される役割につきましても、会員満足度向上が最大のテーマではないかと思えます。そのためには、まず自分自身が満足することが大事であると仰っていました。みんなの役に立っている楽しさを味わえているかどうか満足できるポイントだそうです。目配り、気配り、おせっかいを心掛けて参りたいと思います。

マイロータリーの登録につきましても、改めてお時間をいただき、ご案内の時間を設けたいと考えておりますが、現在の登録数が33名で27%と地区の中でもかなり低迷しておりますので、皆さまのご協力をお願いいたします。以上、報告とさせていただきます。

<閉会・点鐘> 13:30 北村 会長

週報担当 梁 井 康 市